

資源ステーション

～キレイにはワケがある VOL1～

昨年6月より全町でスタートした戸別収集と資源ステーション。町内を歩いていると、資源ステーションを工夫して使っている町内会があることに気がきました。「どんな取り組みをしているのか？」町内会長さんにインタビューしたので、シリーズでご紹介します。



長柄下町内会長 松下さん

<第1回 長柄下町内会>

Q. ごみステーションから資源ステーションになって良かったことは？

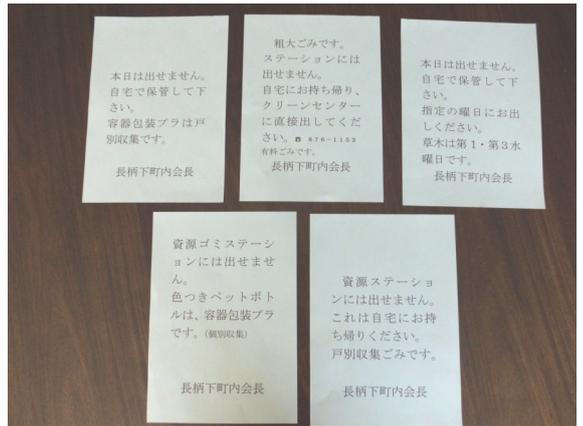
A. 燃やすごみは自宅の前に出す(戸別収集)ので、カラスが減ったと感じています。ごみネットがなくなって、通りがきれいになりました。それと、井戸端会議ならぬ「ステーション会議」で住民同士のコミュニケーションが生まれ、挨拶も増えました。

Q. 長柄下町内会の取り組みは？

A. スタート前に、町内会員だけでなく、町内会に入っていない住民にも資源ステーションの利用場所を聞き取り、

コンテナ出しの当番を決めました。当番制にすることには意見が割れましたが、なんとか理解をいただきスタートすることができました。

最初の2ヶ月間は役員さんと地区役員さんで見回りし、間違えて出されたものには町内会長名で注意の貼り紙をしました。効果があったようで現在は出し間違いが減ったと思います。当初は汚いままのペットフード缶が出されていることもあり大変でしたが最近はそのようなこともなくなりました。



実際に使われた注意の貼り紙



生け垣になじむ資源ステーション

Q. 会長自身がそんなにがんばる気持ちを持てたのはなぜですか？

A. 葉山町がごみを減らすために戸別収集という大きな動きをしたのだから、自分も町内会長として動かなくてはという気持ちです。また、町内会のがんばりを見て、町内会員でない住民の方も協力を申し出てくれることがあり嬉しかったです。

Q. 奨励金の使いみちは決まっていますか？

A. まだ決めていませんが、奨励金は町内のみなさんの努力の成果なので継続した事業に使いたいと考えています。例えば、地域の高校生や大学生が小学生などの面倒を見ることができると児童館が作れたら良いなど個人的には思います。しかし、町内会館のクーラーの修理が先になるかもしれません。

※奨励金=回収された資源物(金属・缶・紙・布)は1kgあたり5円が、町から町内会へ支払われています。

インタビューを終えて

長柄下町内会は生け垣の緑が多く残っている美しい住宅地。資源ステーションから生まれた会話の輪がこれからもどんどん広まると良いですね。



その出し方、あってる？



ごみへらし隊の「分別啓発クラブ」では、定期的に町内の資源ステーションの様子を調査しています。キレイに使われているステーションが多いなか、一部では、以下のようなまちがいで出されたごみや資源物が取り残されているのを見かけました。ルールを守って、みんなが気持ち良く使えるようにしましょう！

❌ 1. プラスチックは資源ステーションには出さない！

容器包装プラスチック（週1回）とプラスチックごみ（月1回）は戸別収集です。
（※白トレイ、ペットボトルは資源ステーションへ）

❌ 2. 「あと出し」はダメ！

資源物は種類別に時間をずらして回収しています。回収済みの品目をあとから出すと、取り残されてしまいます。

❌ 3. 有料ごみは出さない！

ステーションに有料ごみを捨てることは不法投棄になり、処罰の対象になります。分別に迷ったら配布されている冊子「ごみと資源物の分け方・出し方」で確認するか、環境課もしくはクリーンセンター(876-1153)に問いあわせてください。



「ごみっぺらし通信」お問い合わせ先：環境課（876-1111内線454）
町のホームページからでもご覧いただけます。

ごみっぺらし通信

🔍 検索

「べ」のバックナンバーあります。
欲しい方は環境課まで☆